

《ヤナギ属Salixの葉での検索 概要》

A矮小低木で匍匐する 芽鱗は片側で離生することなく帽子状(ヤナギ垂属)(別垂属のマルバヤナギを除く)

B高山帯生

C葉柄は1-3mm 葉は6-13mm、巾3-10mm 広葉 [マメヤナギ節=エゾマメヤナギ節【エゾマメヤナギ】]
C葉柄は4-7mm(G2.5-4mm) 葉は18-30mm、巾6-19mm 広葉 [ミヤマヤナギ節【ミヤマヤナギ】]
C葉柄は10-30mm 葉は20-70mm、巾15-45mm 広葉 [タカネヤナギ節=レンゲイワヤナギ節【タカネイワヤナギ=レンゲイワヤナギ、エゾノタカネヤナギ、ヒダカミネヤナギ】]
p1

B山地-低地生

C葉は対生もあり;50mm以下、巾2-5mm 細葉 [ノヤナギ節【ノヤナギ】]
C葉は総て互生;70-130mm、巾15-30mm 広葉 [ネコヤナギ節1【ハイネコヤナギ=ネコシダレ】]
p2

A匍匐することはない

B枝または小枝が下垂したりねじれたりする

C枝はあまり枝垂れないが、小枝は蛇状にねじれて下垂する 細葉 [シダレヤナギ節1【ウンリュウヤナギ】]
C枝は真直ぐ枝垂れ下垂する 細葉
D小枝は著しく伸長せず、老木では枝が枝垂れるが長くない [シダレヤナギ節2【ヨシノヤナギ、ウラジロヨシノヤナギf、シロヤナギ】]
p3

D小枝は長く伸長し、よく枝垂れる [シダレヤナギ節3】 [シダレヤナギ、ロッカクヤナギf、セイコヤナギf]
p4

B枝は下垂したりねじれたりしない

C葉や穂は対生するものがある 細葉 [カワヤナギ節1=コリヤナギ節【イヌコリヤナギ、コリヤナギ】]
成葉は両面無毛;裏は白味帯る 小枝無毛 托葉なし
p5

D 細葉 葉裏は銀白を呈す 新葉の側縁はの字状に裏側に巻込む 側脈は裏凸する[キヌヤナギ節1【キヌヤナギ、エゾノキヌヤナギ】]
p6

D 細葉 葉裏は普通淡緑で艶があり白味はない;側脈はやや裏凸する 葉は両面とも中肋付近有毛、それ以外は無毛 [シダレヤナギ節4【ヨシノヤナギ】]
p7

D 細葉 葉裏はやや白味がある
E葉は線形が標準;時に尾状鋭尖頭で鎌曲する;巾20mm以下;側脈は裏凸しない [シダレヤナギ節5【タチシダレヤナギ】]
p7

E葉は被針形-広被針形が標準

F側脈は裏凸しない;葉は特に鎌曲せず 若葉は両面多毛 葉柄に微毛多数残る 新枝は多毛-密毛 [シダレヤナギ節6【コゴメヤナギ、シロヤナギ】]
p8

F側脈は裏凸する 若葉は有毛、裏中脈は多毛 成葉表(中脈除く)は後無毛 新枝は有毛

G葉縁は強く裏に巻き弧状鋸歯;葉革質;裏側脈-細脈は凸出し肋脈状

托葉は鋭頭の細卵形-曲長卵形だが、縁が裏巻きし被針形に見える 葉裏はやや多毛から、後無毛【キヌヤナギ節2【オノエヤナギ】]
G葉は鋸歯縁;洋紙質;裏側脈-細脈は凸出し肋脈状 托葉は卵-長楕円形 葉(中脈除く)は両面無毛

宮城-群馬に分布 [ユビソヤナギ節【ユビソヤナギ】]
p9

G葉は鋸歯縁;洋紙質;裏側脈は細く細脈は平坦 托葉は鋭頭被針形、有柄 葉(中脈除く)は両面無毛

[カワヤナギ節2=コリヤナギ節【カワヤナギ、エゾノカワヤナギ】]
p10

E葉は広被針形-長楕円形が標準

F側脈ははつきり裏凸する 若葉はすぐ無毛 成葉は中脈も含め無毛 葉柄は無毛 新枝は無毛

G葉柄やや短く2-8mm 托葉は鋭頭、卵形、顕著で残る 道-上高地に分布 [エゾヤナギ節【エゾヤナギ】]
G葉柄は長く8-16mm程 托葉は扁鋭頭(鋭尖)、腎形(小さい場合扁卵形)、早落性 葉は革質

全国湿地に普通 [タチヤナギ節【タチヤナギ】]
p11

F裏側脈はほぼ平坦-微凸 若葉表(中脈除く)は毛僅少-無毛 葉柄の残毛は微少 新枝は多毛-散毛-無毛

G葉裏は初めやや多毛;側脈は両面やや見難い 托葉は尾状鋭尖頭、卵形(-やや曲)、着点より下部が丸く膨らむ

道-北陸-近畿以西に分布 [シダレヤナギ節7【オオタチヤナギ】]
G葉裏は初め毛極散生、時に絹白帯びる;側脈は表から明らか 托葉は短鋭尖頭、曲長卵形、着点より上に伸びる

本以南<関東以南に多>に分布 [ジャヤナギ節【ジャヤナギ】]
p12

C 広葉 葉や花は総て互生する

D 広葉 葉柄上部に腺あり、時に葉状 芽鱗は複数ある 托葉半円形で大きく顕著

葉(中脈除く)は両面ほぼ無毛か少毛 葉裏の側脈は細くやや微凸、やや平坦 《マルバヤナギ垂属》マルバヤナギ節【マルバヤナギ=アカメヤナギ】]
p13

D 広葉 葉裏は銀白毛密生、後毛残る;側脈は間隔狭く多数、ほぼゆれず上半で特に強く弓曲直上する [ネコヤナギ節2【ネコヤナギ】]
葉表の細脈は深く凹ませず、表面は皺状にはならない

D 広葉 生時に葉表は側脈-細脈が凹み、やや皺状

E葉裏は毛極密生し、後毛多く残る 若枝は散毛、後無毛 [バッコヤナギ節1=ヤマネコヤナギ節]

【バッコヤナギ=ヤマネコヤナギ、マルバノバッコヤナギ=エゾノバッコヤナギ=コウライバッコヤナギ】]
p14

E葉裏の中脈上に白または黄濁毛を多少残存する;黄濁毛は、僅少-やや明らか;葉裏は後無毛 新枝ははじめ密毛あり

F葉裏(中脈除く)は初め毛やや多数散在;ひら鋸歯-ひら凸鋸歯[シバヤナギ節キツネヤナギ垂節1【オオキツネヤナギ=オオネコヤナギ】]
p15

F葉裏(中脈除く)は初め少毛散在;低波鋸歯-低鋸歯-弧状鋸歯

[シバヤナギ節キツネヤナギ垂節2【キツネヤナギ、ミヤマキツネヤナギv、サイコクキツネヤナギ】]
p16

D 広葉 葉表は生時に特に皺状ではない

E葉裏は多毛

F葉裏はやや多毛、後中脈微毛散在;葉表は多毛から、後無毛 新枝は長毛やや密生、後ほぼ無毛 [シバヤナギ節シバヤナギ垂節1]
【コマイワヤナギ】]
F若葉裏は絹毛密生;若葉表は無毛 若枝は無毛 埼玉群馬、石灰岩 [チチヤナギ]
p17

E葉(中脈除く)は両面ほぼ無毛か少毛;裏中脈に毛残らず?

F高山-亜高山、陽地に普通 1年枝は細毛散生、後無毛 葉の中脈-側脈-細脈は裏凸、肋脈状に裏凸;革質

葉は両面無毛;裏中脈は無毛-毛僅少 [ミヤマヤナギ節【ミヤマヤナギ=ミネヤナギ、エゾミヤマヤナギ】]
p18

F亜高山-山地生、乾地崖岩 新枝は無毛 葉の中脈-側脈は裏凸(葉縁付近は平坦、中脈付近は明凸)

葉表は毛僅少、すぐ無毛;表の中脈多毛、後ほぼ無毛;裏はほぼ無毛;裏中脈は毛僅少、後無毛 [シバヤナギ節シバヤナギ垂節2【シライヤナギ】]
F関東南部-愛知、乾地崖岩 小枝軟毛あり 葉鋸歯は属中最も鋭い;裏側脈は平坦

若葉は両面長軟毛覆う 葉は両面無毛;葉裏中脈に毛残らず? [シバヤナギ節シバヤナギ垂節3【シバヤナギ】]
F近畿以北、山地-丘陵、乾地 若枝は散毛、後無毛 1年枝無毛 葉の中脈-側脈-細脈は裏凸

葉表は中脈に微毛疎生、後ほぼ無毛;葉裏は少毛散在;脈上長軟毛やや多数、後ほぼ無毛 [バッコヤナギ節2【バッコヤナギ幼木】]
p19

F植栽 新枝は疎毛;毛は早落性 花期は枝赤色 葉の側脈-細脈は裏凸;革質

葉表は中脈は僅かに疎毛、後無毛;葉裏は中脈に毛疎生、後無毛 [ネコヤナギ節3【クロヤナギ】]
F北海道産、陽湿地 若枝上部は初め絹毛散か微毛 葉は薄い洋紙質

若葉の両面は有毛、後すぐ無毛 葉裏中脈に毛残らず? [バッコヤナギ節3=ヤマネコヤナギ節【タライカヤナギ】]
p20

F近畿以西、山地-丘陵 新枝は初め疎毛あり 葉は厚質;中脈-側脈-細脈は裏凸、肋脈状に低く裏凸

葉表は無毛、中脈は微毛やや多く、後基部に微毛残る;葉裏は無毛、中脈は疎毛散在、後無毛 [ヤマヤナギ節【ヤマヤナギ】]
p21